

# 議会だより しすい

編集・発行/酒々井町議会

〒285-8510 千葉県印旛郡酒々井町中央台4-11 ☎043-496-1171 (代表)



No.215

令和7(2025)年5月20日発行



写真/令和7年4月9日  
大室台小学校入学式



議会HPは  
こちらから  
Check!

4月  
臨時会

新体制決定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P2~P3

令和7年度予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4~P6

条例改正などの議案審議・町長施政方針・・・・・・P7~P9

委員会・本会議での審議結果・・・・・・・・・・・・P10~P12

一般質問 議員12人が町政を問う・・・・・・・・・・・・P13~P19

4月臨時会

第40代議長に金塚学議員  
第42代副議長に大石法子議員



4月18日に行われた令和7年第3回臨時会において、第40代議長に金塚学議員、第42代副議長に大石法子議員が選出され、各常任委員会、議会運営委員会など、令和9年4月までの2年間の新体制が決定しました。(議案については次頁)



議長  
まなぶ 学  
かね 塚

公正かつ円滑な  
議会運営を目指します

私は、議員各位のご理解とご協力をいただきながら、公正かつ円滑な議会運営と、議会の更なる活性化に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

本町におきましては、依然として厳しい財政状況ではございますが、魅力と活力に溢れ、安心・安全で住みよいまちづくりを進めてまいります。

どうぞこれからも、町民の皆様の温かいご支援、並びにご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



副議長  
のりこ 法子  
おお 石

女性の視点も生かした  
議会運営に努めます

この度、伝統ある本町の副議長を拝しました。身の引き締まる思いでいっぱいでございます。本町の課題は多々ございますが、まずは町民の皆様が安心・安全に暮らせるよう、全力で活動してまいります。

今後とも、町民の皆様のご温かいご支援、並びにご協力をお願い申し上げます。

議会選出の一部事務組合等議会議員	
組合等名	議員名
印旛衛生施設管理組合	小早稲 美穂
佐倉市八街市酒々井町消防組合	江澤 眞一 ・ 岡野 義広
佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合	高崎 長雄 ・ 小坂 和也
佐倉市、酒々井町清掃組合	酒瀬川 芳子 ・ 綿貫 薫
印旛郡市広域市町村圏事務組合	金塚 学
千葉県後期高齢者医療広域連合	白井 則邦

# 各委員会の新体制も決定

## 総務常任委員会

委員長 小早稲 美穂  
副委員長 御園生 浩士  
委員 高崎 長雄  
金塚 学  
大石 法子

## 教育民生常任委員会

委員長 酒瀬川 芳子  
副委員長 白井 則邦  
委員 地福 美枝子  
川島 邦彦  
木内 信子  
小坂 和也

## 経済建設常任委員会

委員長 江澤 眞一  
副委員長 竹尾 忠雄  
委員 齊藤 博  
綿貫 薫  
岡野 義広



## 議会運営委員会

委員長 御園生 浩士  
副委員長 岡野 義広  
委員 江澤 眞一  
地福 美枝子  
酒瀬川 芳子  
小早稲 美穂

## 議会だより編集特別委員会

委員長 岡野 義広  
副委員長 小坂 法子  
委員 大石 美穂  
小早稲 薫  
綿貫 信

# 4月臨時会での議決結果

令和7年4月18日に臨時会を開催し、条例の一部改正や一般会計補正予算等について審議を行いました。

賛成・・・○ 反対・・・× 欠席・・・欠 議長・・・一 徐斥・・・徐 ※議長は採決に加わりません

議案番号	4月臨時会 件名と主な内容 (件名は一部省略)	議席番号	採決結果															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			小坂	岡野	綿貫	木内	小早稲	白井	大石	酒瀬川	金塚	御園生	川島	齊藤	竹尾	地福	江澤	高崎
1	専決処分の承認を求めることについて（酒々井町一般職の職員の給与等に関する条例等の一部改正）	承認 賛14・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
2	専決処分の承認を求めることについて（酒々井町税賦課徴収条例の一部改正）	承認 賛14・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
3	専決処分の承認を求めることについて（酒々井町都市計画税条例の一部改正）	承認 賛14・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
4	専決処分の承認を求めることについて（酒々井町国民健康保険税条例の一部改正）	承認 賛14・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
5	令和7年度酒々井町一般会計補正予算（第1号） …スポットクーラーの購入及び設備工事等や、その他国予備費等を活用する調査にかかる経費を追加するもの。	可決 賛14・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
6	令和7年度酒々井町下水道事業会計補正予算（第1号） …既定の資本的収入及び資本的支出を増額するもの。	可決 賛14・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
7	工事請負契約の締結について…酒々井町保健センター大規模改修工事について議会の議決を求めるもの。	可決 賛14・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
8	工事請負契約の締結について…町道02-012号線飯積橋架設工事について議会の議決を求めるもの。	可決 賛14・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○
9	監査委員の選任について…議会選出の監査委員に高崎 <sup>たかさき</sup> ながる <sup>ながる</sup> 長雄氏を選任することについて議会の同意を求めるもの。	同意 賛14・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	徐

# 3月定例会 予算

## 3月定例会概要

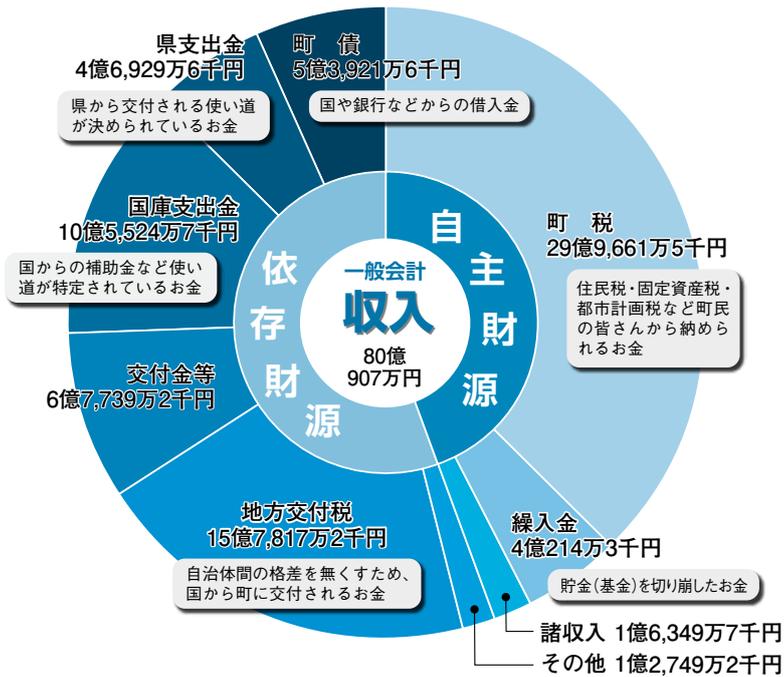
3月定例会は、3月4日から3月14日までの11日間の会期で開催され、町長から提案された議案19件と諮問1件、議員から提案された発議案1件について、それぞれ審議を行いました。審議の結果、議案等は、いずれも原案のとおり可決・同意しました。

また、町長から「史跡本佐倉城跡千葉勝胤歌碑設置について」、「墨古沢遺跡の保存整備について」など5件と、教育長からは「青少年交流の家に係る裁判について」の行政報告が行われました。

一般質問は、12名の議員が3日間にわたり行い、災害対策やまちづくり地域振興、子育て支援など町政全般について質問しました。(二一般質問は13頁、19頁に掲載)

# 令和7年度予算 過去最大80億円可決・成立

### 令和7年度一般会計予算内訳



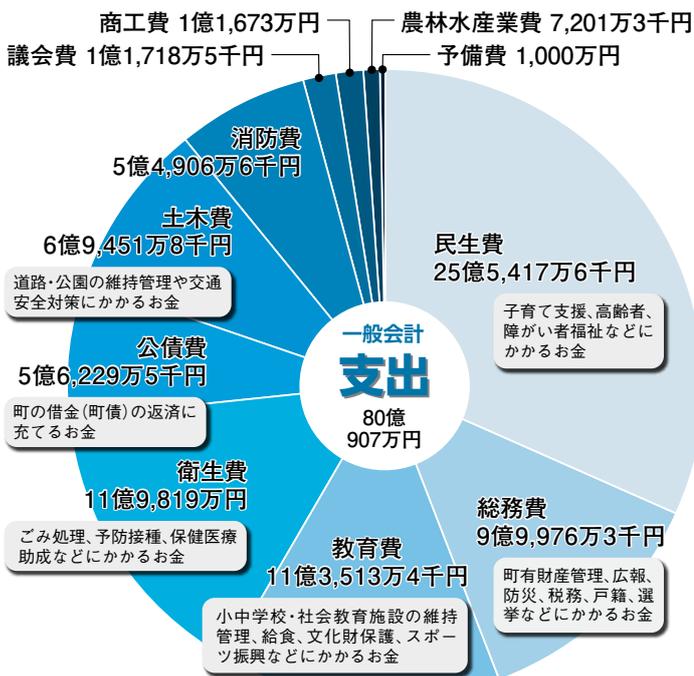
令和7年度の一般会計予算の総額は、80億907万円で、前年度より8億1159万7千円、11.3%の増加となりました。

国民健康保険などの3つの特別会計予算の合計は、40億9287万6千円で、前年度より683万3千円、1.6%の減少となりました。

自主財源: 35億6,225万5千円 (44.5%)

依存財源: 44億4,681万5千円 (55.5%)

### 令和7年度各会計予算

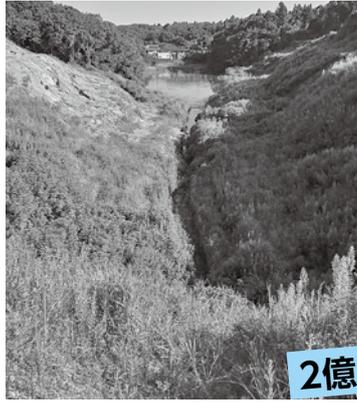


区分	令和7年度	前年度比較	
特別会計	国民健康保険	19億6,497万1千円 △1億7,438万3千円 (8.2%減)	
	介護保険	17億213万5千円 9,925万8千円 (6.2%増)	
	後期高齢者医療	4億2,577万円 678万7千円 (1.6%増)	
公営企業会計	水道事業	事業収益	5億1,352万2千円 △2,899万7千円 (5.3%減)
		事業費用	5億1,811万8千円 881万9千円 (1.7%増)
		資本的収入	2億2,596万1千円 △4,655万4千円 (17.1%減)
	下水道事業	資本的支出	2億6,903万1千円 △1億3,584万4千円 (33.6%減)
		事業収益	4億7,763万5千円 9,661万1千円 (25.4%増)
		事業費用	5億2,909万5千円 6,502万7千円 (14%増)
資本的収入	7,311万7千円 △1,569万7千円 (17.7%減)		
資本的支出	2億1,775万4千円 1,714万9千円 (8.5%増)		

令和7年度

注目事業はこうです

馬橋川沿岸  
盛土撤去工事



2億9,700万円

盛土総点検にて、災害防止措置が確認できなかった盛土について、令和6年度に馬橋川沿岸盛土対策事業（測量及び土質調査等）により、崩落の危険性や対策の必要性等の調査を行った。これまで原因者には是正勧告等の指導を行ってきたが、資力がなく撤去が見込めないことや、対策費用に係る交付金が創設されたことから、開渠部分における崩落等による災害を防止するため、町が行政代執行により工事を行うもの。

保健センター  
大規模改修工事



2億2,787万円

保健センターは、昭和59年に整備されて約40年が経過し、外壁の損傷や空調機の故障等施設の老朽化が顕著であり、安心して健康づくりを行えるようにするために、大規模改修工事を実施するもの。



補聴器購入費用  
助成事業



10万円

令和7年度より新規事業として、在宅で生活し、聴力低下により日常生活を営むのに支障がある高齢者に対し、補聴器の購入に要した費用の一部又は全部を助成するもの。（助成件数に上限あり。）

中川調整池整備事業



2億円

近年の大雨により、浸水被害が発生していることから、中川上流部に調整池を整備し、洪水を一時的に貯留することによって、沿川の全域にわたり、治水安全度の向上を図るもの。

子ども医療助成事業



6,744万2千円

令和7年1月診療分から子ども医療の対象範囲が高校生等までに拡大。入院・通院・調剤のいずれも現物給付及び償還払いの対象となる。

墨古沢遺跡  
保存整備事業



5,054万円

墨古沢遺跡保存整備事業のNEXCOの土地について、長期間協議を重ね、売却の目途が立ってきたことから、土地を購入するための経費。

## 令和7年度

## 予算に関する討論

## 反対

議案第10号

水泳指導の100万円削減  
児童の学びにまで減額  
予算は認めない

竹尾 忠雄議員

児童生徒の修学旅行補助金削減で保護者負担が増加、北海道陸別町への児童交流事業費削減、これまでは20人募集を10人の募集へ、酒々井小学校水泳指導事業費削減で学びの回数を減らす、住宅リフォーム補助事業は、町民の生活環境の向上、町内産業の活性化、雇用創出目的とした年間300万円の予算を170万円に減額を行った。暮らしと地域経済を壊す予算は認められない。

5億円の調節池事業の見直しを求める。用地取得は8割で、「取得した所から工事を行う」と説明があった。

田んぼに調節池を作るのではなく、田んぼダムで水稲に被害があると、農家に補償すれば、田んぼダムは維持管理が必要ないため経費が浮く。

令和7年度の工事費2億円は削除し、教育や暮らしのために税金は使うべきだ。

## 賛成

議案第10号

将来都市像の実現に  
向けて取り組むため  
に賛成する

金塚 学議員

市町村での住民サービスも格差が拡大し、町民の行政に対する注目も大きくなっている中、限られた一般財源の有効的かつ効果的な活用と国や県による補助金や交付金の活用など工夫と努力がみられている。

特に注目すべき事業は、「中学生学校給食費半額無償化事業」、「中川調節池整備工事」、「馬橋川沿岸盛土撤去等対策工事」、「保健センター大規模改修工事」、「上ヶ作緑地トイレ改修」、「防犯ボックス事業」などがある。

厳しい財政状況であるが、10年後、20年後の酒々井町の未来を見据え、責任をもって取り組まなくてはいけない課題がある。

その未来をより良いものにする責任があり、この素晴らしい町を次の世代へ引き継ぐためにも賛成をする。

## 反対

議案第11号

国保税の引き上げは、  
物価高に追い打ちを  
かけることに

地福 美枝子議員

国保特別会計が基本的に町民の保険税で賄う仕組みこそ、国民健康保険法による国民の健康や医療に対する保障という本来の目的に反している。

その現在の仕組みの中で、引き上げざるを得ない状況は理解はしている。国がもっと支出すべきと現在懸案事項になっている状況だ。

物価高騰の中、町民への大きな負担となることから反対する。



## 賛成

議案第10号

防災及び安全安心なま  
ちづくり施策として期  
待できることから賛成

岡野 義広議員

環境保全対策事業として、大雨が降ると心配されている馬橋地域の馬橋川沿岸の盛土について、崩落による開渠部分の河川の流水が阻害される防止策として土砂撤去等の工事を行う予算が措置されたこと。また、河川改修事業として、台風や大雨時にたびたび家屋の床上床下浸水被害のある中川流域の治水対策として、上流部への調節池設置工事費が予算措置されたこと。

その他にも、町民の安全安心を守るための各種施策が工夫されており、防災及び安全安心なまちづくり施策として期待できることから、議案第10号について賛成する。



# 当初予算以外の

# 議案審議

## 【議案第1号】

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

## 【議案第2号】

酒々井町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

## 【議案第3号】

酒々井町一般職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

## 【議案第4号】

酒々井町税賦課徴収条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について

「刑法等の一部を改正する法律」及び「刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係法律の整理等に関する法律」の施行により、「懲役」及び「禁錮」が廃止され、これらに代えて「拘留」が創設されることに伴い、「禁刑」が創設されることに伴い、これを引用する「酒々井町一般職の職員の給与等に関する条例」、「酒々井町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例」、「酒々井町土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例」、「酒々井町環境保全条例」、「酒々井町個人情報保護法施行条例」の5条例について、所用の改正を行うもの。

《賛成全員で可決》

令和6年8月に人事院が行った「公務員人事管理に関する報告」において、「仕事と生活の両立支援の拡充」に係る項目が明らかにされたことに伴い、超過勤務の免除の見直し等を行うもの。

令和6年度の人事院及び千葉県人事委員会の勧告を踏まえ、一般職の給料表を新たな給料表へ移行するとともに、扶養手当、地域手当、通勤手当、管理職員特別勤務手当及び定年前再任用短時間勤務職員等に対する住居手当の支給に係る制度の見直しを行うもの。

《賛成全員で可決》



《賛成全員で可決》

千葉県税条例等の一部を改正する条例が公布されたことに伴い、酒々井町税賦課徴収条例の一部を改正する条例の一部を改正するもの。

内容については、令和6年度税制改正による新たな公益信託制度の創設に伴い、公益信託の信託財産とするために支出された寄付金を個人住民税の寄付金税額控除の対象とするよう規定するもの。

《賛成全員で可決》

## 【議案第5号】

酒々井町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

町の国民健康保険の財政状況は、被保険者数の減少などによる保険料の減収や1人当たりの医療費の増加等により、支出が収入を上回る状況にあり、これまで国民健康保険財政調整基金を取り崩して対応してきたが、

		現行	改正後	引き上げ額等
医療 支援 介護 分の合計	所得割	9.70%	12.31%	+ 2.61%
	均等割	42,400円	60,600円	+ 18,200円
	平等割	31,200円	29,700円	▲ 1,500円

《賛成多数で可決》

基金残高が減少し、新たに財源を確保する必要性が生じており、健全な財政運営を行うため、千葉県が示した標準保険料率等を参考に、保険料率を改めるもの。

また、国民健康保険に加入する被保険者間の税負担の公平性の確保と中間所得者層の税負担の軽減を図るため、後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額を22万円から法定課税限度額の24万円に改めるもの。

【議案第16号】  
げんき館の指定管理者  
の指定について



この議案に注目！

施設の運営管理に際し、民間の能力を活用して、多様化する住民ニーズに的確に対応し住民サービスの向上を図るとともに、費用対効果の向上を図ることを目的として、令和7年4月1日から令和10年3月31日を指定期間とする指定管理者を公募したところ、株式会社グッドスタッフフー1社から応募があり、酒々井町指定管理者選定委員会での審査の結果、同社が適正であるとの判定結果になったことから、株式会社グッドスタッフを酒々井町交流拠点施設げんき館の指定管理者として指定するために議会の議決を求めるもの。

▼指定管理者制度とは▲  
多様化する住民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設管理に民間のノウハウを活用しながら住民サービスの向上と経費の削減を図ることを目的とする制度。

討論

議案第16号  
ボランティア団体の  
力を結集すべき  
御園生 浩士 議員

議案の説明時、過去の事業報告、費用対効果、比較検討材料の数字も明示がなかった。企画財政課は、全体予算について、財政状況は大変厳しいとの説明があり、町長の肝いりの墨古沢遺跡の事業も一時停止となった。議案の「げんき館の指定管理者の指定について」業者に委託するのではなく、井戸端運営のように、臨時雇用の職員で事業展開できないのか、その時の予算はどの程度か、また町は過去に住民協働課を設置し、住民との協働を目指していた。その結果、町には多くのボランティア

団体が生まれた。団体は施設運営の手伝いはできないのか、声かけはしたのか、議案提出前に予算額を含めて調査し、その比較検討結果をもって提案すべきである。これでは町民に対する説明不足が否めない。以上の理由により反対する。

【議案第17号】  
町道路線の認定について



道路法第8条第1項の規定により認定する路線は、上本佐倉地先及び尾上地先における宅地開発に伴い帰属を受けた2路線であり、その認定について、同条例第2項の規定により議会の議決を求めるもの。

人事案件

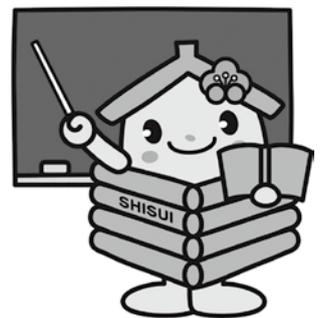
【議案第18号】  
農業委員に藤崎氏を任命

農業委員会委員の定員が8名のところ1名の欠員が生じたため、後任として農業に関する見識を有している藤崎茂氏を任命するために議会の同意を求めるもの。

任期は、令和7年4月4日から令和8年7月19日まで。  
《全員賛成で同意》



藤崎 茂  
農業委員会委員



【議案第19号】  
教育委員に  
大塚氏を再任

現教育委員会委員である大塚益子氏おおくまが令和7年3月23日をもって任期満了となるため、引き続き、教育に関し高い見識を有している大塚氏を時期委員として再任するために、議会の同意を求めるもの。

任期は、令和7年3月24日より4年。  
《全員賛成で同意》



大塚 益子  
教育委員

補正予算の変更額

	増減	合計
一般会計	▲3億1,886万4千円	76億3,471万円
国保特別会計	▲4,281万9千円	20億7,584万6千円
介護保険特別会計	5,471万3千円	17億774万3千円
後期高齢者特別会計	▲336万5千円	4億5,069万7千円

第6次総合計画・前期基本計画の4年目となる令和7年度は、計画期間の5年間で特に力を入れて推進すべきとして掲げた3つの重点テーマ「安全・安心」「郷土力」「将来の息吹」の実現を目指し、総合計画の7つの政

まちづくりの目標



小坂町長

今回の一般会計補正予算では、障害者総合支援事業に係る扶助費、放課後児童クラブ事業に係る補助金などが増額補正され、各種事務事業の決算見込みから減額等の調整を行うもの。《賛成全員で可決》

3月定例会  
補正予算

施政方針演説  
(要約)



施政方針  
QRコード

令和7年度の主要施策

策分野ごとのまちづくりの基本目標の達成に向けて、限られた経営資源を有効に活用し、取組をさらに加速させていきます。

①健康・福祉・子育て

- 子ども医療費助成事業
- 子育て家庭の包括支援
- 高齢者の外出支援
- 高齢者の生きがい支援
- 妊娠・出産応援給付金
- 産後ケア事業の拡充



②教育・文化

- 国際交流派遣事業
- 国史跡墨古沢遺跡
- 国史跡本佐倉城跡
- 給食センター共同利用
- 学校給食の無償化
- 地域学習「酒々井学」
- パワーアップE事業

③生活安全

- 消防・防災事業
- 避難行動要支援者名簿
- 交通安全・防犯対策



④環境共生

- 脱炭素化への取り組み
- 環境保全対策
- 地域猫対策

⑤都市基盤

- 地震に強いまちづくり
- 空き家対策
- 町道の整備及び維持管理
- 中川の治水対策



⑥産業・経済

- 商工業の振興施策
- 「まるごとしすい」の活用
- 観光情報の発信
- 新規創業者の発掘

⑦地域生活・行財政

- 町民参加・協働
- 地域活動拠点「下宿ベース」

100年安心して住めるまちづくり

いま、想定を上回るスピードで進む高齢化の影響もあり、扶助費の額が年々上昇しており、財政状況が厳しくなっています。それでも将来を見据えて取り組んできたまちづくりの基盤整備が多少なりとも現在の自主財源の確保に結びついているのではないかと思います。

これからも「100年安心して住めるまちづくり」を目指し、町民の皆さまがこの町に住んで良かったと幸福感を感じられるまちづくりに、「すべては町民のために」全身全霊取り組んでまいります。

町民の皆さまには、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

(町長挨拶引用)

施政方針の詳しい内容は、ホームページまたは広報ニューしすい4月号をご覧ください。

# 各常任委員会での審査結果

◎…委員長 ○…副委員長

## 総務常任委員会

■総務課、企画財政課、税務住民課、くらし安全協働課、会計室、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、その他の事務についての審査を担当

委員 ◎小早稲／○地福高崎／御園生酒瀬川

	件名 (件名は一部省略)	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第1号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	4	0	原案可決
議案第2号	酒々井町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	4	0	原案可決
議案第3号	酒々井町一般職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	4	0	原案可決
議案第4号	酒々井町税賦課徴収条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	4	0	原案可決
議案第5号	酒々井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	3	1	原案可決
議案第6号	令和6年度一般会計補正予算(第7号) ※委員会担当分野	4	0	原案可決
議案第10号	令和7年度一般会計予算 ※委員会担当分野	3	1	原案可決

## 教育民生常任委員会

■健康福祉課、教育委員会についての審査を担当

委員 ◎大石／○白井川島／木内岡野／小坂

	件名 (件名は一部省略)	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第6号	令和6年度一般会計補正予算(第7号) ※委員会担当分野	5	0	原案可決
議案第7号	令和6年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	5	0	原案可決
議案第8号	令和6年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	5	0	原案可決
議案第9号	令和6年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	5	0	原案可決
議案第10号	令和7年度一般会計予算 ※委員会担当分野	5	0	原案可決
議案第11号	令和7年度国民健康保険特別会計予算	5	0	原案可決
議案第12号	令和7年度介護保険特別会計予算	5	0	原案可決
議案第13号	令和7年度後期高齢者医療特別会計予算	5	0	原案可決
議案第16号	酒々井町交流拠点施設げんき館の指定管理者の指定について	5	0	原案可決

## 経済建設常任委員会

■経済環境課、まちづくり課、上下水道課、文化観光課、農業委員会についての審査を担当

委員 ◎江澤／○竹尾齊藤／金塚綿貫

	件名 (件名は一部省略)	審査の結果		
		賛成	反対	結果
議案第6号	令和6年度一般会計補正予算(第7号) ※委員会担当分野	4	0	原案可決
議案第10号	令和7年度一般会計予算 ※委員会担当分野	3	1	原案可決
議案第14号	令和7年度水道事業会計予算	4	0	原案可決
議案第15号	令和7年度下水道事業会計予算	4	0	原案可決
議案第17号	町道路線の認定について	4	0	原案可決

# 本会議での 議決結果

賛成・・○ 反対・・× ※議長は採決に加わりません。

議案番号	3月定例会 件名と主な内容 (件名は一部省略)	議席番号 採決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
			小坂	岡野	綿貫	木内	小早稲	白井	大石	酒瀬川	金塚	御園生	川島	齊藤	竹尾	地福	江澤	高崎議長
〈 条例の一部改正 〉																		
1	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について [掲載：7ページ]	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	酒々井町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について [掲載：7ページ]	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	酒々井町一般職の職員の給与等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について [掲載：7ページ]	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	酒々井町税賦課徴収条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について [掲載：7ページ]	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	酒々井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について [掲載：7ページ]	可決 賛13・否2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
〈 令和6年度補正予算 〉																		
6	令和6年度酒々井町一般会計補正予算(第7号) [掲載：9ページ] …各種事務事業の整理等による決算見込みから減額等の調整を行うもので、3億1,886万4千円を減額し、補正後の予算額を76億3,471万円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	令和6年度酒々井町国民健康保険特別会計補正予算(第3号) [掲載：9ページ] …歳入歳出額の確定等に伴い、所要の補正をするもので、4,281万9千円を減額し、補正後の予算額を20億7,584万6千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	令和6年度酒々井町介護保険特別会計補正予算(第3号) [掲載：9ページ] …歳入歳出額の確定等に伴い、所要の補正をするもので、5,471万3千円を増額し、補正後の予算額を17億774万3千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	令和6年度酒々井町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) [掲載：9ページ] …歳入歳出額の確定等に伴い、所要の補正をするもので、336万5千円を減額し、補正後の予算額を4億5,069万7千円とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
〈 令和7年度予算 〉																		
10	令和7年度酒々井町一般会計予算 [掲載：4～6ページ] …予算額を80億907万円とするもの。(前年度比8億1,159万7千円、11.3%の増加)	可決 賛12・否3	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○
11	令和7年度酒々井町国民健康保険特別会計予算 [掲載：4ページ] …予算額を19億6,497万1千円とするもの。(前年度比△1億7,438万3千円、8.2%の減少)	可決 賛13・否2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
12	令和7年度酒々井町介護保険特別会計予算 [掲載：4ページ] …予算額を17億213万5千円とするもの。(前年度比9,925万8千円、6.2%の増加)	可決 賛13・否2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○

# 本会議での 議決結果

賛成・・○ 反対・・× ※議長は採決に加わりません。

議案番号	3月定例会 件名と主な内容 (件名は一部省略)	議席番号	採決結果																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
			小坂	岡野	綿貫	木内	小早稲	白井	大石	酒瀬川	金塚	御園生	川島	齊藤	竹尾	地福	江澤	高崎議長	
13	令和7年度酒々井町後期高齢者医療特別会計予算 [掲載: 4ページ] …予算額を4億2,557万円とするもの。 (前年度比678万7千円、1.6%の増加)	可決 賛13・否2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—
14	令和7年度酒々井町水道事業会計予算 [掲載: 4ページ] …収益的収入を5億1,352万2千円、 収益的支出を5億1,811万8千円とし、資本的収入が 2億2,596万1千円、資本的支出が2億6,903万1千円 とするもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
15	令和7年度酒々井町下水道事業会計予算 [掲載: 4ページ] …収益的収入を4億7,763万5千円、 収益的支出を5億2,909万5千円とし、資本的収入が 7,311万7千円、資本的支出が2億1,775万4千円とす るもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
〈指定管理者の指定〉																			
16	酒々井町交流拠点施設げんき館の指定管理者の指定につ いて [掲載: 8ページ] …株式会社グッドスタッフを酒々井 町交流拠点施設げんき館の指定管理者として指定するこ とについて議会の議決を求めるもの。	可決 賛13・否2	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	—
〈町道の認定〉																			
17	町道路線の認定について [掲載: 8ページ] …上本佐倉地先及び尾上地先におけ る宅地開発に伴い帰属を受けた2路線の認定について議 会の議決を求めるもの。	可決 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
〈人事案件〉																			
18	酒々井町農業委員会委員の任命につき同意を求めること について [掲載: 8ページ] …農業委員会委員の定数が8名のと ころ、1名欠員が生じたため、後任として藤崎茂 <sup>ふじさきしげる</sup> 氏を 任命することについて議会の同意を求めるもの。	同意 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
19	酒々井町教育委員会委員の任命 [掲載: 8ページ] …大塚益子 <sup>おおつかますこ</sup> 氏を再任することについ て議会の同意を求めるもの。	同意 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
〈諮問〉																			
1	酒々井町人権擁護委員の推薦 [掲載: 8ページ] …松本真吾 <sup>まつもとしんご</sup> 氏の推薦について議会の意見を求めるもの。	適任 賛15・否0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
〈発議案〉議員提出による議案																			
1	酒々井町議会の個人情報保護に関する条例の一部を改 正する条例の制定について …刑法等の一部を改正する法律等が改正されたことに伴 い、「懲役」及び「禁固」が廃止され、新たに「拘禁刑」 が創設されることに伴い、所用の改正を行うもの。また、 併せて「行政手続きにおける特定の個人を識別するた めの番号の利用等に関する法律」が改正されたことに対 応するとともに、所要の規定の整備のため、改正しよう とするもの。  (提出者 金塚学 議員 他5名)	可決 賛13・否2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—

# 一般質問

## 町のが聞きたい 町の考えを問う

一般質問とは、議員が、事務の執行状況や将来の方針などについての報告や説明を町長などの執行機関に求めることです。

3月定例会では、3月4日から14日までの11日間で12名の議員が登壇し、町政について質問しました。

ここでは、質問と答弁を要約した内容を質問順にお知らせします。

※今回の令和7年第2回定例会の会議録(5月下旬発行予定)は、インターネットまたは図書館でご覧いただけます。



- |             |              |  |
|-------------|--------------|--|
| 1<br>(P14)  | 大石 法子<br>議員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 带状疱疹ワクチン</li> <li>▶ 京成車両基地拡張工事に伴う近隣住民への対応</li> <li>▶ 上下水道管の点検</li> </ul>  |
| 2<br>(P14)  | 金塚 学<br>議員   | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 安心・安全で住み良いまちづくりの推進</li> <li>▶ 活力と賑わいのあるまちづくりの推進</li> <li>▶ 地域経済の振興・発展と賑わいのあるまちづくりの推進</li> <li>▶ 財政運営と財政基盤の確保</li> </ul> |
| 3<br>(P15)  | 江澤 眞一<br>議員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ G I G Aスクール事業</li> <li>▶ 中川調節池</li> </ul>   |
| 4<br>(P15)  | 地福 美枝子<br>議員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 「青少年交流の家」裁判</li> <li>▶ 住みたいと思える酒々井町に</li> <li>▶ 今後の子育て支援</li> <li>▶ お年寄りの対策</li> <li>▶ 水道の更新状況</li> </ul>               |
| 5<br>(P16)  | 岡野 義広<br>議員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 都市計画道路</li> <li>▶ 地域計画策定</li> </ul>   |
| 6<br>(P16)  | 白井 則邦<br>議員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 酒々井町の歴史的資源</li> <li>▶ 子どもの意見表明</li> <li>▶ 学校のあり方</li> <li>▶ 健康保険の資格確認書</li> </ul>                                       |
| 7<br>(P17)  | 小坂 和也<br>議員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 教育環境</li> </ul>   |
| 8<br>(P17)  | 小早稲 美穂<br>議員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 介護保険</li> <li>▶ 酒々井町の子育て</li> </ul>   |
| 9<br>(P18)  | 川島 邦彦<br>議員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 上下水道事業</li> </ul>   |
| 10<br>(P18) | 齊藤 博<br>議員   | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 中期の財政見通し</li> <li>▶ 馬橋川沿岸盛土復旧</li> <li>▶ ちびっ子天国の管理</li> <li>▶ 中川治水対策</li> </ul>   |
| 11<br>(P19) | 御園生 浩士<br>議員 | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 令和7年度予算(案)と関係することについて</li> </ul>  |
| 12<br>(P19) | 竹尾 忠雄<br>議員  | <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 学校体育館の空調整備</li> <li>▶ J A跡地</li> <li>▶ 墨古沢遺跡、筋・相川邸の今後の対応</li> <li>▶ 農業問題</li> </ul>                                     |

※各議員の質問事項については、本誌に掲載してある質問を**ゴシック体**で表記しています。



### 議会の様子(録画)を公開しています

議員下のQRコードを読み取ると、各議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

本会議録画中継  
はこちらから→



問

带状疱疹ワクチンが定期接種化されるが町の対応は

答

対象者には個別に通知する



大石 法子 議員



厚労省は、带状疱疹の予防接種を令和7年4月1日から定期接種化にする

と発表したことから、次の点を伺う。

問 対象者は。

健康福祉課長 対象者は、令和7年度に65歳から5歳刻みに100歳までと、101歳以上になる方、60歳から64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害があるなど、一定要件で対象となる。なお、101歳以上の方は令和7年度のみ対象となる。

問 対象者や町民への周知方法は。

健康福祉課長 個別に通知するとともに、広報紙等で周知を行っていく。

車両基地工事に伴う住民への対応は

京成車両基地拡張工事に伴う近隣住民への対応について、次の点を伺う。

問 近隣住民からの苦情、要望に対する町の対応は。

まちづくり課長 苦情等はその都度伝えていく。町は見通しの悪くなったカーブに待避所の整備やカーブミラーの設置を行った。

問 新設道路の完成見通しは。

まちづくり課長 3月の地元区の総会

等に町と京成電鉄で出席できるように調整している。その席で詳細な工程や道路の構造等について説明していく。

問 工事に伴う宗吾参道駅への道路補修の見通しは。

まちづくり課長 必要に応じて補修するよう事業者に指導しており、引き続き事業者と協議していく。

上下水道管の点検を

八潮市で起きた道路陥没事故について、町民から不安の声が多く聞かれていることから、次の点を伺う。

問 町内の上下水道管の経過年数は。

町長 水道の導水管は53年、配水管等は57年を経過しているものがある。下水道埋設管渠は、51年経過したものがある。

問 定期検査は行っているのか。

町長 水道管は3年ごと、下水道管は5年ごとに点検を実施している。

問 今後の更新計画は。

上下水道課長 水道事業は東酒々井を中心に工事を実施している。下水道事業は、作成中のストックマネジメント計画の完成後に取り組む予定である。

問

酒々井小プール跡地と給食センター用地を売却すべき

答

有効活用も考えながら、総合的に検討していく



金塚 学 議員



問 財政的に大変厳しいと説明されるのであれば、給食センター及び酒々井小学校プール跡地を売却すべきである。売却時の費用換算や固定資産税の見込みなどは試算をされているのか。

企画財政課長 給食センターは、教育委員会において、今後の有効活用策等を検討している。現段階においては、売却する検討はしていないので、固定資産税等の試算はしていない。

問 「酒々井小プール跡地」、「給食センター」、「生涯生活センター」、「文化財倉庫」これらを一括して売却することは町が目指す住宅開発事業の誘導や税収確保に繋がると考えるがその発想はないのか。

町長 売却する前に有効活用を考えていく。老朽化した施設を撤去する場合でも、施設内の物が不要ではなく、活かすべき物の場合には、知恵を出して既存の施設を活用していくことがコスト面にも良いので、法令順守しながら、総合的に検討していきたい。

活力と賑わいのあるまちづくりを

成田空港の更なる機能強化を活か

した企業誘致や地域振興が活発に進められていく中で、他の自治体との差別化を図るため、町独自の施策や戦略はあるのか。

企画財政課長 4つの駅や酒々井インターチェンジを有しているなど、当町の強みを活かしたまちづくりに努めていく。

問 企業誘致に関して、町の強みである4駅と高速道路のインターチェンジをアピールし、企業に選ばれるまちづくりを進めるために、重要な戦略となる目標数値はどのように設定するのか。

経済環境課長 第6次総合計画後期基本計画の策定にあたり、産業系ゾーン

の企業誘致の可能性や進捗を踏まえて指標を検討していく。

問 企業誘致・人材確保をしていく上で、外国人労働者及びその家族の生活環境や教育環境整備も重要となるが、現在、町内の小中学校における児童・生徒の在籍数を伺う。

学校教育課長 外国籍の在籍数は小中学校併せて令和6年度で27名となっている。

問

児童生徒のパソコン更新時期だが

答

令和7年度に購入し、令和8年度から使用開始する



江澤 眞一議員



GIGAスクール事業について次の点を伺う。

問 来年度からパソコン等の更新事業が行われるが、事業の内容を伺う。

こども課長 令和3年度の小中学生1人1台パソコン導入以来5年が経過するので、令和7年度はパソコンの購入とセッティング等の準備を行い、令和8年度より使用開始する。

問 新規に用意するパソコン台数と予算について伺う。

こども課長 児童生徒用が1,269台、教員用が150台、合計1,419台を見込んでいる。パソコン購入費8,117万7千円、セッティング費用860万8千円を計上している。

中川調節池整備の進捗状況は

中川調節池について次の点を伺う。

問 今年度の進捗状況について伺う。

まちづくり課長 上郷地区で用地の進捗状況を説明するとともに、地元からの要望事項について意見交換を行った。令和5年度から用地取得を進め、令和7年3月末の用地取得率は面積ベースで約80%を予定している。

問 来年度の事業計画について伺う。

まちづくり課長 引き続き、用地取得に努めるとともに、既設の用水管の切回し工事や進入路の整備をはじめ、本体工事に着手するよう進めていく。

問 整備事業の予算について伺う。

まちづくり課長 残る用地の取得費2,961万6千円、工事費2億円を計上している。

問 事業の予算と財源について伺う。  
こども課長 事業費は、8,977万5千円を計上し、財源は、国の公立学校情報機器等整備事業補助金として4,652万9千円を見込み、残りの4,324万6千円は一般財源となる。



問

「青少年交流の家」裁判に多額の税金を使っている

答

判決が不当であることから控訴した



地福 美枝子議員



問 町は「青少年交流の家」裁判に多額の税金を使っていることについて、どのように考えているのか。

生涯学習課長 契約は、被控訴人が建物を平成28年3月25日までに完成させ、町が建物の引き渡しと引き換えに1,175万5,638円を支払うとする請負契約である。しかし、一審判決は、町に1,677万7,960円の支払いと平成28年5月26日から年5分の割合による金員の支払いを命ずるものであり、その判決が不当であることから控訴したものである。

住みたいと思える酒々井町に

問 12月議会で否決された「政策監」に何を期待したのか。

総務課長 将来を見据えたプロジェクトなど、特定の業務に専属的に従事してもらうことを期待した。特に移住者の獲得、生産年齢人口の増加に向けたまちづくりなどは、喫緊の課題であり、こうした課題解決のために政策監を置こうとしたものである。

問 少子高齢化が顕著な酒々井町にとって、今後の施策は何か。

企画財政課長 若い世代が安心して結婚し、出産、子育てができるようになるため、令和7年度から新たに産後健診と1ヶ月児健診の費用の一部を助成するなど、若年層や子育て世代の支援を行い、住み続けたいと思えるまち、住みたくなるまちづくりに努めていきたい。  
今後の子育て施策は  
問 小中学校給食費無償化の実現を。学校教育課長 小中学校の給食費無償化について、国は令和8年度以降の可能性限り早期の制度化を目指す方針を示したことから、その動向を注視したい。  
問 老朽化した町内小学校の改修が迫っている。少子化が進む酒々井町であっても、2校の統合は避けてほしいが、小学校改修の計画について伺う。  
こども課長 令和6年度に「酒々井町学校施設のあり方検討会議」を開催し、学校施設の再編・整備等について様々な意見を伺い、結果等を取りまとめ中である。



問

都市計画道路（尾上飯積線）の完成見通しは

答

令和8年度の完成を目指している



岡野 義広 議員



問 都市計画道路町道02・012号線（尾上飯積線）の整備状況と完成の見通しを伺う。

まちづくり課長 盛土工事が完了しており、現在、高崎川を跨ぐ橋梁工事の入札手続きを進めており、令和8年度の完成を目標としている。

問 この都市計画道路が完成した際には、飯積橋は通行止めや廃止となると思うが、飯積地域に住む方の生活道路として、都市計画道路から地域へ繋ぐ道路は、計画されているのか。

まちづくり課長 飯積地域の現道に繋がる新たな道路を整備する計画になっている。

問 県道宗吾酒々井線の柏木から大鷲・トケ崎・国道51号へと結ぶ町道のアウトレットへ向かう渋滞の対策について伺う。

まちづくり課長 以前は抜け道対策として地権者の協力により直進を進むよう看板を設置していた。現在は撤去されていることから、生活道路の安全を確保するため代わりとなる案内標識や注意喚起する表示等の設置について検

討していく。



アウトレット方面へ向かう車の抜け道となっている町道

効率的な営農環境の構築を

問 将来の農地の利用方針をまとめる「地域計画」の策定で懸念されるのは耕作者がいらない空白地の多発だと思いが、耕作者がいらない空白地の心配はないのか。

経済環境課長 農家の高齢化や後継者不足により空白地が懸念されているが、農地中間機構を通じた農地の集約化や農業担い手育成補助金等により、担い手の確保に向けて取り組んでいきたい。

問 地域計画策定後は、地域や農家への町等からの支援や指導は変わるのか。

経済環境課長 策定後も町からの支援等は変わることなく行われ、更に地域計画の実現に向けてサポートしていく。

問

徳川清光寺の調査研究は継続するのか

答

淑徳大学と連携しながら、引き続き、継続していきたい



白井 則邦 議員



問 徳川清光寺資料の調査研究について、まだ資料の5分の1ほどしか調査できていないとのことだが、今後も調査研究を継続するのか。

町長 包括連携協定を締結している淑徳大学と連携し、令和2年度より史跡調査を実施し、町の歴史に興味を持ってもらうため報告会を開催した。今後も淑徳大学と連携を図りながら継続していきたい。

子どもの意見も聴取して計画策定を

問 子どもの生活に大きな影響のある第3期酒々井町子ども・子育て支援事業計画の作成において、子どもへの意見聴取をしなかったのは何故か。

こども課長 今回の計画策定は、子育て支援を対象として意見聴取を行った。今後、こども施策を策定する際は、子どもも含めた意見聴取も検討したい。

今後の小中学校施設の方向性は

問 公共施設の老朽化と少子化に関連して、酒々井町の小中学校のあり方について、現在どのような議論が行われているのか。

こども課長 令和6年度に「酒々井町学校施設のあり方検討会議」を設置し、4回の会議を重ねてきた。学校施設の現状と課題、人口推移や児童生徒の推計、現状維持や再編によるメリット・デメリット等について議論を行い、会議の結果等は現在取りまとめ中である。

資格確認書の申請対象者は

問 マイナ保険証での受診等が困難な要配慮者は、マイナ保険証を保有していても、申請により資格確認書の交付が認められているそうであるが、どのような方が申請可能なのか。

健康福祉課長 要配慮者の方として、高齢者や障がい者等、様々な困難を抱えている方が想定されており、一律の基準は定めていない。個々の事情に応じて申請していただき、資格確認書の交付を行う。なお、一度、申請いただければ、毎年自動で資格確認書が送付される。



**問** 学校が保護者に寄り添うことは長所になる

**答** 学校と保護者の信頼関係構築は児童生徒にも有益である



2月5日に大室台小学校で学校評価アンケートが公表された。周囲の学校も含めた多くの小学校では集計結果を統計数字を中心に記載していたが、大室台小学校では保護者から寄せられた「ご意見と回答」という項目に丁寧に対応しており、回答ページ数も私が確認した中では最も多かった。大室台小学校では、学校教育目標として「心豊かで、ともに学ぶたくましい子の育成」を掲げており、目指す子供像と目指す学校像を提示している。その中で目指す学校像として「子ども・保護者・地域の方から信頼される学校」が掲げられており、きちんと体现されていて大変素晴らしいと感じる。この取り組みに継続性を持たせ、酒々井町の教育環境の向上に取り組み、当町における特徴のひとつに昇華させるべきとの考えから、以下の点について伺う。

**問** 学校が保護者に寄り添っているという点は、酒々井として長所になりえるか、町の考えを伺う。

**教育長** 学校が保護者に対して丁寧に対応することは、学校と保護者の信頼

関係構築に好影響があると考えられる。結果的に児童生徒の成長のために連携できる関係となり、児童生徒にとって有益であると考ええる。

**問** 校長によって教育理念が違うことから、校長が変われば校風の変化が起こり、良い取り組みが承継されないことも考えられる。良い理念や取り組みを町内の小・中学校で共有し、永続的に続けるための取り組みは必要ではないか。

**教育長** 各学校は、何か新しい取り組みを始めるとき、継続できることを前提に計画をするが、時代の要請や学習指導要領の改訂などにより、取り組みを常に柔軟に見直す必要もあると考えられる。そうしたことを繰り返すことで良い取り組みは形を変えながらも「学校文化」として根付くことになると考えている。教育委員会としては、学校の取り組みについて、その良さを共有するよう働きかけていく。

**問** 要介護認定が非該当の方が受けられるサービスはあるのか

**答** 何らかのリスクのある方には介護予防等のサービスが受けられる



**問** 要介護認定が非該当の方が受けられるサービスはあるか。

**健康福祉課長** 非該当となった方が受けられるサービスは、「介護予防・日常生活支援総合事業」があり、高齢者の介護予防と自立した日常生活の支援を目的としている。

**問** 介護予防・生活支援サービス事業はどのような方が受けられるか。

**健康福祉課長** 酒々井町地域包括支援センターにおいて、日常生活における何らかのリスクがあると判定された65歳以上の方が利用できる。

**問** 介護予防・生活支援サービス事業はどのようなものか。

**健康福祉課長** 掃除、洗濯などの日常生活上の訪問型のサービスと機能訓練や集いの場に通う通所型のサービスがある。



**問** 学用品の町内取扱店の状況は

**学用品の町内取扱店の状況は**

**問** 制服・体操服等の販売店の現状と今後の状況を伺う。

**学校教育課長** 小学校の場合、学生服、体操服、通学帽、名札は取扱店で購入いただいております。その他の学用品は、教材販売店で購入または個人での購入を依頼している。

**問** 以前は数店舗あった販売店も、様々な要因で販売店の減少など、町内事業者の状況によっては、制服のデザイン変更・販売店等も含め町民の購入しやすい形態を考えていかななくてはならないと考えるが、教育委員会としてどのように考えているか。

**学校教育課長** 現在、学生服、体操服等の販売をしている取扱店は、町内に2店舗ある、2店舗とも閉店予定との連絡は教育委員会や学校にはない。



**水道管・下水道管の耐用年数  
経過割合は**

**答** 上水道が39.45% 汚水管が約13%、  
雨水管が約23%



川島 邦彦議員



水道管の老朽化に伴う全国的な事故を踏まえ、現状と今後の対応を伺う。

**問** 上下水道管の敷設の長さ及び耐用年数を経過している割合を伺う。

**上下水道課長** 水道管の総延長は約14.4km、耐用年数(40年)の経過割合は39.45%の56.8km。下水道管の総延長は約10.6kmで、耐用年数(50年)の経過割合は、汚水管が約13%の12.5km、雨水管が約23%の2.5kmとなっている。

**問** 町内井戸の取水状況及び今後の見通し、また、取水設備の耐久性を伺う。

**上下水道課長** 印旛広域水道からの受水と8本の井戸水を混合して水道用水として利用しているが、将来的には印旛広域水道からの受水が増加すると考えている。設備は定期的に更新しており、大規模災害等で損傷を受けない限りは長期的に使えるものと考えている。

**問** 印旛広域水道からの受水量が数年前から倍増している。経費面を考慮した運営が必要ではないか。

**上下水道課長** 県条例により井戸を新規に掘削することができない。経費に

ついては、まだ分析できていない。管路の更新計画を伺う。

**問** 下水道事業は、東酒々井区を中心に更新工事を進めている。下水道事業は、作成中のストックマネジメント計画に含まれる予定で、完成後に本格的な工事を実施する。

**問** 事業運営について、官民連携による運営を段階的に進めるとしているが、その内容と考えを伺う。

**上下水道課長** 官民連携により、事務の効率化などを視野に入れていますが、利用者の不安にならない形での構築を目指したい。

**問** 物価高の中で、下水道料金の見直しを控えているが、低所得者に対する激変緩和措置など支援の考えはないか。

**町長** 国の対策などもあるので、総合的に考えていく。

**要望** 地盤沈下を懸念した「新たな井戸の掘削規制」及び「ポンプ設備の更新規制」に対し、次の点を県に求められたい。

- 1 既存休止井戸(2本)の再利用
- 2 法人による井戸掘削規制(新設)

**令和7年度の財政見通しは**

**答** 歳入は増えるが、歳出も扶助費等の増加により増える



齊藤 博議員



昨年の12月議会で、町当局から「中期の財政見通し」と題して、令和9年度までの歳入不足が3年間で「11億円」になるとの報告があった。私が町議会議員として参画した平成18年に町は「アウトレットからの税収7億円」等で財政が潤い「千葉県の福祉の町」になると説明していた。しかし、現実

は「アウトレットからの税収は3.5億円」おまけに、赤字の財政になるという、如何に町の想定が根拠のないものだったのか。本当に、がっかりした。町民には、どのように説明するのか。そこで、中期見通しの根拠を伺う。

**問** 歳入全体では増加となっているが、その主な要因は何か。

**企画財政課長** 主な要因として、歳入の約4割にあたる町税(個人町民税・法人町民税・固定資産税)について、給与収入の増加、企業業績の増益に伴い、増加を見込み、国庫支出金は、防災・安全社会資本整備交付金、児童手当交付金等の増加、また、地方交付税の増加を見込んでいる。

**問** 歳出全体も増加となっているが、その主な要因は何か。

**企画財政課長** 児童手当や介護給付費、子ども医療費などの扶助費が増加し、学校給食事務負担金や清掃組合負担金、消防組合負担金、下水道事業会計繰出金などの増加、また、馬橋川沿岸盛土撤去工事や保健センター大規模改修工事など増加した。

**問** 令和7年度の町税の状況及び増収策について伺う。

**企画財政課長** 安定的な財源の確保のため、国や県の補助金制度を有効活用すること、企業誘致を積極的に進めていくことや町有財産の活用として未利用地の賃貸や売却を検討していきたい。

**税務住民課長** 令和6年度と比較して、町民税は約9千万円の増、固定資産税は約1千万円の増、軽自動車税が約200万円の増など、町税全体では、1億1,496万2千円の増を見込んでいる。



係争中の「青少年交流の家」

**問** 「青少年交流の家」裁判和解ではなく判決を選んだ理由は

**答** 和解に向けた協議が整わなかった



御園生 浩士 議員



問 「青少年交流の家」新築工事の裁判の経過報告があり、令和7年2月13日に第1回口頭弁論、そして4月24日が判決の言い渡し日と伺った。町は千葉地裁での調停案は受け入れず、東京高裁での調停を検討したのに、なぜ、和解せず判決を選択したのか。

生涯学習課長 東京高裁での1回目の口頭弁論において、判決日が決定したが、裁判所から和解による解決も考えていることから、協議を行いたいとの申し出があったので、応じたところである。しかしながら、双方で協議が整わなかったため、裁判所は、和解による協議を終了し、当初の予定どおり判決を言い渡すことになった。

問 町は、政策監を設置する予定であったが、12月議会で否決された。当初の予算額と今後は、誰が政策監の仕事を行っていくのか伺う。

総務課長 令和7年度の予算額に政策監に関する予算は計上していない。政策監は将来を見据えたプロジェクト、重要政策に関する情報収集・分析、事業推進にあつての関係機関との連絡調整など、町長直轄の特別職として、政治的な内容の行事への参加や政治家との折衝業務など行いながら公共の利益の実現を図ることを目的としていた。一般職の職員がこうした行為を行うことは、地方公務員法に規定する職に専念する義務、あるいは政治的行為の制限に反することになるので、認められていない。



**問** 小中学校の体育館へ空調設備の設置を

**答** 設置に向けて検討している



竹尾 忠雄 議員



問 近年は猛暑で体育館での学びができない状況にある。子どもたちの学びを保障するのは政治の責任ではないか。また、災害時には避難所となる体育館へ空調設備の設置は必要である。近隣の富里市や栄町でも予算化されると伺っているが、町の見通しを伺う。

町長 体育館への設置にあたり、配線や機種、台数などを担当課で検討している。授業ができない形にならないように進めていきたい。

J A跡地の活用は

問 J A跡地の購入目的について伺う。

経済環境課長 J R酒々井駅前の賑わいを創出し、町を訪れた方などを町中心市街地に誘客することを目的に駅前立ち寄れる場所としての駐車場を整備するために購入したものである。

問 J A跡地の購入額はいくらか。

経済環境課長 6,500万円で購入した。

問 購入して何年経過しているのか。

経済環境課長 令和元年12月に購入したので、5年数ヶ月経つ。

問 建物解体の見通しを伺う。

まちづくり課長 国の有利な交付金が受けられなくなったので、現時点では見通しが立っていない。

墨古沢遺跡は国で保存すべき

墨古沢遺跡整備事業費（9億8,745万5千円）は、資材高騰などでは増加すると思われる。

問 町の財政状況からして基本設計に基づいてどのように進めるのか。

生涯学習課長 令和7年度は遺跡保全の観点から用地取得を進めるが、令和8年度は町財政状況の見通しから、一時休止とする判断をした。

問 令和3年度から支出した金額は。

生涯学習課長 支出は1億4,946万2千円、そのうち約8割は用地取得費、約1割が各種計画や設計の作成経費になる。

問 「墨古沢遺跡」は、国指定史跡を受け、用地の公有化を行ってきたが、10億円を超える保存事業は町にはできない。国が保存すべきではないのか。

生涯学習課長 現在の制度では、現状で行っていることが全てである。

# ふるさとガイドの会に聞きました

①ガイドを始めたきっかけは？ ②本佐倉城跡で注目してほしいところは？ ③本佐倉城跡のおすすめ探索時期は？



もとよし たけお  
本吉 丈夫 さん

- ①「昔の繁栄を後世に繋ぐ」と「ガイドは健康の泉」の相乗効果で健康寿命を延ばそうと。
- ②城は敵の攻撃を妨げる構造物です。虎口（入口）、空堀、切岸（斜面）等、攻守を変えた目線で想像し散策を。
- ③花咲き鳥唄い若葉煌めく春。国破れ草木深き夏。枯葉舞い枯尾花揺れる秋。冬芽の立ち枝青空に描く冬。



いしの きょうこ  
石埜 京子 さん

- ①青樹堂で酒々井町を勉強した事です。第2のふるさと酒々井を紹介したいと思いました。
- ②城山から見下ろした景色です。また先日整備されたセッテイから見下ろした、堀の深さを実感して欲しいです。
- ③春夏秋冬それぞれ景色が違い楽しめます。冬から春先にかけて草が生い茂らず、地形をよく見ることが出来ます。



おおにし まさのり  
大西 眞典 さん

- ①地元にある城跡を案内し説明することで、多くの人との出会いがありそうだったから。
- ②東山虎口とビューポイントからの眺めです。この場所から約500年前の城の情景に思いを馳せてください。
- ③雨や猛暑極寒の日を除けば、季節を問わずいつでも探索を楽しめます。城跡内には自然が多く残されています。



さかわ かずただ  
酒匂 一忠 さん

- ①酒々井町には、千葉氏の終焉の地でもある城郭跡があることを知ってほしいと思いました。
- ②中世山城として規模も大きく、原型がほぼ残っており、自然を応用し防御性に優れた構造になっていることです。
- ③春から初夏にかけて、山野草が咲き新緑が青空に映えて、ピクニック気分で見学に来ていただければと思います。

ふるさとガイドの会の会員は現在14名。千葉氏の居城「国史跡本佐倉城跡」を中心にガイドされています。ガイドの事前申込みは1人から受付けており、無料でお楽しみいただけます。中世から江戸時代にかけて栄えた「歴史の街・酒々井」の見所を豊かな自然と共に探索してみませんか。

問い合わせ：生涯学習課 ☎ 043 (496) 5334

## 6月定例会のお知らせ

次の定例会は、6月3日から開会予定です。会期の概要は5月23日に開催予定の議会運営委員会会で決まります。会期等は町ホームページでお知らせします。

詳細は、議会事務局にお問い合わせください。  
☎ (496) 1171  
(内線251・252)

## 編集にあたって

春を迎え、周囲の緑も豊かになりました。心の豊かさを大切に、日々過ごしてまいります。

- 委員長 御園生浩士
- 副委員長 小坂和也
- 委員 金塚和也
- 委員 小早稲美穂
- 委員 綿貫薫
- 委員 木内信子

